

様式第2「光化学オキシダント緊急時措置等実施計画書」別紙 説明資料（「3 炭化水素系物質に対する措置」関係）

※炭化水素系物質の取扱いがある場合作成

1 炭化水素系物質を取り扱う施設、物質名及び排出量（排出濃度）

（例：施設＝塗装施設（法届出対象）、洗浄施設、貯蔵タンク、タンクローリー等

物質名＝原油、揮発油、混合有機溶剤等、排出量（排出濃度）＝2,000Nm³/h（100ppm、700ppmC）等）

1. 貯蔵施設（ナフサ ○○Nm³/h）
2. タンクローリー（ナフサ ○○Nm³/h）
3. 塗装施設（混合有機溶剤 ○○Nm³/h）

2 1の炭化水素系物質に対する措置の内容、削減効果

（例：注意報時のタンクローリーの出荷停止により通常時の排出量から○○%削減、

通常時塗装施設の排ガスの燃焼処理により濃度○○ppm削減等）

1. 浮屋根式貯蔵施設
2. 注意報・警報・重大警報時の貯蔵施設への受入作業中止
3. 注意報・警報・重大警報時の塗装作業中止

3 今後の炭化水素系物質対策の計画（VOC対策）

塗装施設については使用塗料の転換を図る。

（水性塗料への転換）

* 炭化水素系物質の取扱い工程がわかる資料もあわせて提出してください。